

相手の名前を聞いたら、すぐ呼び始めるのがマナー。

合コンの冒頭でそれぞれが自己紹介をする意味は、ただ単に人を知るためだけではありません。

相手の名前を知るためです。

自己紹介が終われば、相手の名前がわかりますね。

名前がわかった瞬間から、相手の名前を呼び始めましょう。

積極的に相手の名前を含めて会話ができれば、好印象が得られ、仲良くなるまでの時間が早くなるのです。

それが自己紹介をした、本当の意味です。

しかし、ここからが要注意です。

いきなり初対面からニックネームは、失礼と思われることでしょう。

なれなれしさがあがり、礼儀がない人だと誤解されます。

とはいえ、無難に敬称をつけて呼ぶのも、堅苦しくてつまらないですね。

会話から堅苦しさが抜けず、お見合いのような会話になるでしょう。

どうすればいいのでしょうか。

相手に確認を取ればいいのです。

「タカヒロ君と呼んでもいい？」

「愛ちゃんと呼んでもいい？」

初対面からいきなり名前と呼ぶのは失礼なので、相手に断りを入れましょう。

いいよと了承してくれれば、さっそくそのニックネームで呼び始めてOKです。

相手から許可を得ているので、失礼にはあたりません。

初対面から、いきなりニックネームで呼ぶことができ、短時間で親しくなれるのです。



合コンがうまくいく言葉遣い その20

相手の名前がわかれば、積極的に名前で呼ぶ。